

通し番号	3776
------	------

分類番号	12-54-22-13
------	-------------

(成果情報名) 飼料畑における外来雑草防除に関する試験	
[要約] 外来雑草は、飼料畑に蔓延し種子を形成し埋土種子となる。この埋土種子からの発芽が経年的に認められた。7草種のうちオオオナモミ、オオブタクサ、アメリカキンゴジカは4年目に、アレチウリは5年目に、アメリカイヌホウズキは7年目に発生が認められなくなった。イチビ及びヨウシュチョウセンアサガオは、7年目も発生が継続した。	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

#### [背景・ねらい]

飼料畑に蔓延した外来雑草の種子が埋土種子となり、翌年以降、埋土種子による新たな種子形成及び他からの搬入がなかった場合、どのような発生消長となるかを調査し、効果的な雑草防除技術の基礎とするため実施した。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 発生株数は、各年3月下旬にロータリー耕起し、その後の発芽した株を発生株数とした。発生株は、調査後直ちに抜き取り調査区内で、新たに種子を形成させないようにした。
- 2 外来雑草7草種のうちオオオナモミ、オオブタクサ、アメリカキンゴジカは4年目に、アレチウリは5年目に、アメリカイヌホウズキは7年目に発生が認められなくなった。
- 3 イチビ、ヨウシュチョウセンアサガオは、7年目も発生が継続した。
- 4 発生が継続しているイチビ、ヨウシュチョウセンアサガオの2年目の発生率は、50%以上と他の草種と比較して高かった。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 外来雑草の発生消長及び発生時期に留意し、効率的な防除方法の検討が必要である。

[ 具体的データ ]

表 1 月別発生株数の年次推移

草種	年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	発生率
イチビ	7年	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	6.8
	6年	2	5	1	0	0	0	0	0	0	8	18.2
	5年	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5	11.4
	4年	1	10	1	2	0	1	0	0	0	15	34.1
	3年	5	1	3	1	0	2	0	0	0	12	27.3
	2年	2	14	4	4	0	6	0	0	0	30	68.2
	1年	8	19	4	13	0	0	0	0	0	44	100.0
チョウセンアサガオ	7年	3	2	2	0	0	0	0	0	0	7	0.2
	6年	11	17	24	13	0	0	0	0	0	65	1.8
	5年	233	33	5	36	14	0	18	0	0	339	9.5
	4年	181	215	40	118	2	22	0	0	0	578	16.1
	3年	444	154	222	158	34	51	1	0	0	1,064	29.7
	2年	1,073	139	47	18	67	442	57	17	0	1,860	52.0
	1年	519	1,578	363	454	310	150	106	80	20	3,580	100.0
アメリカイヌホウズキ	7年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	6年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	5年	20	10	0	0	1	0	0	0	0	31	1.3
	4年	23	28	7	10	8	4	0	0	0	80	3.4
	3年	45	31	12	11	29	5	1	0	0	134	5.7
	2年	138	57	110	31	1	6	1	5	0	349	14.7
	1年	0	854	1,095	386	28	0	8	0	0	2,371	100.0
アレチウリ	5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	4年	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1.1
	3年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5
	2年	5	3	2	0	0	2	0	0	0	12	6.6
	1年	50	42	43	29	7	9	3	0	0	183	100.0
アメリカキンゴジ	4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	3年	0	1	4	7	1	0	0	0	0	13	3.3
	2年	0	0	40	0	0	0	0	0	0	40	10.1
	1年	0	67	44	68	63	108	48	0	0	398	100.0
オオブタクサ	4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	3年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.1
	2年	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6.3
	1年	22	8	0	2	0	0	0	0	0	32	100.0
オオオナモミ	4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	3年	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.4
	2年	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2.6
	1年	222	87	38	103	7	0	0	0	0	457	100.0

注) オオオナモミは、オナモミ(7本)を含む。  
発生率は、初年次発生株数を100とした指数。

[ 資料名 ] 平成12年度試験研究成績書(繁殖工学・乳牛・肉牛・飼料作物)

[ 研究課題名 ] 飼料畑における外来雑草防除に関する試験(発生消長調査)

[ 研究期間 ] 平成5年度~平成12年度(昭和58年度~)

[ 研究者担当名 ] 荒木尚登・水宅清二・田中靖彦・中岡道明